

第 18 回明大昆虫セミナー

幼若ホルモンの細胞内シグナル経路の解明

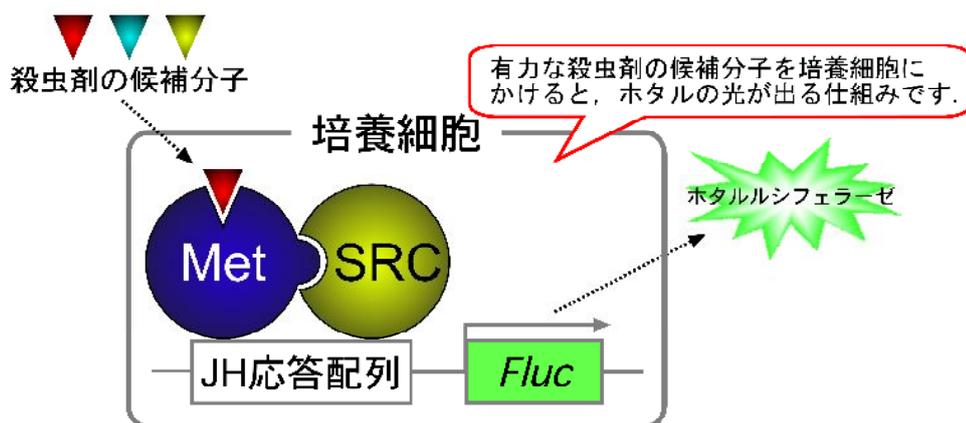
—環境に優しい殺虫剤の開発へ向けて—

粥川 琢巳 氏

(農業生物資源研究所・農学科卒業生)

日時：2012年5月18日(金) 16:30頃～18:30頃
会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0311 教室

殺虫剤による害虫防除は、農作物の安定的な生産を可能にした一方、受粉昆虫や害虫の天敵などの益虫も殺してしまう問題点があります。そのため、益虫をなるべく殺さず、害虫にだけ選択的に作用する殺虫剤の開発が求められています。我々は、この条件を満たす殺虫剤を合理的に開発するために、昆虫の種類によって構造のバリエーションが存在し、脱皮・変態に関わる昆虫固有の幼若ホルモン(juvenile hormone, JH)に着目し、未だ明らかにされていないJHの分子作用機構を解明することで、新たな殺虫剤の開発ができないかと考えています。今回のセミナーでは、JHによって誘導され、変態抑制作用を有する遺伝子(*Krüppel homolog 1*)の解析と、その知見をもとに現在開発している新規殺虫剤評価システムについて紹介します。



研究の世界で活躍する先輩の話を聞いてみませんか？

問い合わせ：農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享

(5号館 208、内線 7810)